



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 サンメッセ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7883 URL <https://www.sunmesse.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長社長執行役員 (氏名) 田中 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 千代 耕司 TEL 0584-81-9111

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,205	3.0	41	74.1	97	54.3	79	38.5
2022年3月期第1四半期	4,082	18.1	158	—	212	206.8	128	86.0

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 213百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 245百万円 (39.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.11	—
2022年3月期第1四半期	8.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	18,575	10,452	55.8
2022年3月期	19,288	10,727	55.2

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 10,366百万円 2022年3月期 10,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,060	3.6	95	36.3	160	30.1	95	1,871.3	6.13
通期	16,940	2.0	345	25.4	470	22.3	290	9.9	18.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	17,825,050 株	2022年3月期	17,825,050 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	2,328,162 株	2022年3月期	2,328,162 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	15,496,888 株	2022年3月期1Q	15,496,888 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の普及や、まん延防止等重点措置の解除など厳しい制限が緩和される中、一部には持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株の発生による感染再拡大リスクなどにより経済活動の停滞が続いております。更に、原油をはじめとした原材料価格の高騰やウクライナ情勢の緊迫化等も生じており、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況にあります。

印刷業界におきましては、情報媒体のデジタルシフトによるペーパーメディアの需要減少や競争の激化、価格の低迷という構図が長期に渡っていること、更には原材料価格の高騰等により厳しい経営環境が続いております。

このような環境下において当社グループは、2025年に向けた90周年スローガン「Challenge for Change 2025 ～変革への挑戦～」のフェーズ2となるメインテーマとして当期から「One Sun Messe」を掲げ、一体感を意識した組織力の強化・改革に注力し、更なる事業成長と企業価値向上を実現できるよう努めてまいります。また、当社の強みを最大限発揮できる幅広い領域を視野において、地球環境並びに社会の持続的発展と、グループ全体の持続的成長を両立していくためのサステナビリティ経営につきましても、企業としてどのようにアプローチしていくべきか、具体的な取り組みの策定を推し進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は42億5百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は41百万円（前年同期比74.1%減）、経常利益は97百万円（前年同期比54.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次の通りであります。

①印刷事業

印刷事業につきましては、個人情報扱うIPS関連やセットアッセンブリーなどを行うBPO関連等が増加しましたが、出版印刷物や包装・パッケージ印刷物等の減少により売上高は39億90百万円（前年同期比1.2%減）となり、営業利益は12百万円（前年同期比92.9%減）となりました。

②イベント事業

イベント事業につきましては、イベントの中止や延期が相次いだ前期とは異なり当期は順調に受注することができたことと、コロナ関連事業の受注増加の影響により売上高は2億14百万円（前年同期比377.6%増）となり、営業利益は27百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて2億94百万円減少して62億61百万円となりました。これは、現金及び預金が4億45百万円、電子記録債権が96百万円それぞれ増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が7億77百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べて4億17百万円減少して123億14百万円となりました。これは、繰延税金資産が88百万円増加しましたが、機械装置及び運搬具が79百万円、投資有価証券が3億71百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて3億82百万円減少して48億75百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億51百万円、賞与引当金が2億33百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べて55百万円減少して32億47百万円となりました。これは、長期借入金が51百万円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて2億74百万円減少して104億52百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が3億円減少したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回公表（2022年5月13日付）いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,680	1,729,075
受取手形、売掛金及び契約資産	3,825,852	3,048,601
電子記録債権	711,041	807,181
商品及び製品	93,310	83,179
仕掛品	405,779	371,155
原材料及び貯蔵品	91,334	108,297
その他	148,780	117,275
貸倒引当金	△3,631	△3,286
流動資産合計	6,556,147	6,261,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,537,891	2,500,607
機械装置及び運搬具（純額）	2,335,741	2,256,175
土地	3,283,192	3,283,192
その他（純額）	134,534	123,254
有形固定資産合計	8,291,359	8,163,230
無形固定資産	74,888	67,430
投資その他の資産		
投資有価証券	3,555,468	3,184,149
繰延税金資産	526,730	614,901
その他	309,879	305,827
貸倒引当金	△25,922	△21,062
投資その他の資産合計	4,366,156	4,083,817
固定資産合計	12,732,404	12,314,478
資産合計	19,288,551	18,575,959

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,845,464	1,593,537
電子記録債務	267,481	308,477
短期借入金	1,530,000	1,530,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	57,200
未払法人税等	99,563	17,834
賞与引当金	418,454	185,025
その他	1,089,893	1,183,248
流動負債合計	5,258,057	4,875,323
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	120,200	68,400
役員退職慰労引当金	215,665	217,810
退職給付に係る負債	2,847,229	2,844,105
その他	20,147	17,344
固定負債合計	3,303,241	3,247,659
負債合計	8,561,299	8,122,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,114	1,236,114
資本剰余金	1,049,534	1,049,534
利益剰余金	8,067,191	8,086,719
自己株式	△1,162,491	△1,162,491
株主資本合計	9,190,349	9,209,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,403,906	1,103,306
為替換算調整勘定	1,867	7,175
退職給付に係る調整累計額	48,083	46,266
その他の包括利益累計額合計	1,453,857	1,156,748
非支配株主持分	83,045	86,351
純資産合計	10,727,252	10,452,976
負債純資産合計	19,288,551	18,575,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,082,904	4,205,723
売上原価	3,152,314	3,359,259
売上総利益	930,589	846,463
販売費及び一般管理費	772,146	805,388
営業利益	158,442	41,075
営業外収益		
受取利息	29	29
受取配当金	38,213	44,858
不動産賃貸料	16,045	16,660
保険解約返戻金	2,034	-
その他	4,322	2,235
営業外収益合計	60,645	63,784
営業外費用		
支払利息	2,409	2,212
不動産賃貸費用	4,247	4,294
投資有価証券評価損	-	1,350
その他	74	0
営業外費用合計	6,730	7,857
経常利益	212,357	97,001
特別利益		
固定資産売却益	2	23,113
助成金収入	34,057	-
その他	-	3,103
特別利益合計	34,060	26,216
特別損失		
固定資産売却損	-	105
固定資産廃棄損	15	36
投資有価証券評価損	92,384	-
新型コロナウイルス感染症による損失	36,405	-
特別損失合計	128,805	141
税金等調整前四半期純利益	117,612	123,076
法人税、住民税及び事業税	5,194	7,049
法人税等調整額	△20,570	38,260
法人税等合計	△15,375	45,309
四半期純利益	132,987	77,766
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	4,062	△1,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,925	79,241

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	132,987	77,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,215	△300,600
為替換算調整勘定	4,170	11,294
退職給付に係る調整額	△1,176	△1,817
その他の包括利益合計	112,210	△291,123
四半期包括利益	245,197	△213,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,924	△217,868
非支配株主に係る四半期包括利益	6,272	4,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。